

## 「賀古駅家、発掘ものがたり」 1 <予告編>

第3回、第4回に、賀古駅家について楽しく詳しいお話がありました。そうした中で、再び賀古駅家のお話に割り込ませて頂いたのは、賀古駅家の発掘調査を担当した者の責任として、その成果をできるだけ多くの方々に、わかりやすくお伝えしなければならぬ、と感じたためです。

私を知りうる限り、今回の賀古駅家（遺跡名：古大内遺跡）の発掘調査ほど多くの地元の方々に興味をもっていただいた調査はありませんでした。発掘調査は比較的長く現地に留まります。そうした中で、今回の発掘調査では賀古駅家に関する新発見だけでなく、野口町の方々と本当に様々な場面で出会いがあり、ご協力がありました。

調査成果の一部は新聞報道やBS放送の特別番組（私も出演！）などで大きく取り上げられましたが、詳しい内容や裏話については今後のお楽しみにとっておきたいと思います。



と、いうことで、この場をお借りして「賀古駅家、

発掘ものがたり」をシリーズにし、お世話になった野口町の方々や考古学ファンの方々に、そして野口町や考古学のことを知らない方々にも、発掘調査のおもしろさや地域再発見の楽しさをお伝えすることができるよう、がんばって筆（キーボード）を進めていきたいと思えます。

何分、普段書きなれている報告書や論文（さらに、お役所文書）とは違う書き方で、読み難いところも多々あるかと思いますが、何とぞお付き合いの程、よろしく願い申しあげます。

それでは「賀古駅家、発掘ものがたり」、はじまり、はじまり～

兵庫県立考古博物館 学芸員 中村 弘